



千葉大学エンド・オブ・ライフケア看護学 5ヶ年の成果報告

第5回市民協働シンポジウム

エンド・オブ・ライフケアを支える
語り合い学び合いの
コミュニティづくり

日時

2015年 **10月25日** 日
13:00～16:00

場所

一橋大学 一橋講堂
(東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内)

自分のかけがえのない人生を語ることは、自分の生きた証です。語り合うことで互いに些細な気づきが積み重なり、自分の人生に大きな発見や喜びをもたらすことがあります。日常ではなかなか難しいですね。そのような語り合いの場を築いていきませんか！このシンポジウムでは語り合い学び合いのコミュニティづくりの先駆的な実践例をご講演いただきます。また、私たちは千葉市生涯学習センターとともに、住み慣れた地域で自分らしさを自覚し、豊かな日々を生きるための対話促進体験型コミュニティの形成にむけて、3年間取り組んで参りました。その成果もご報告させていただきます。

総司会 高橋 在也 (千葉大学大学院看護学研究科)
岩城 典子 (千葉大学大学院看護学研究科)

1 千葉大学エンド・オブ・ライフケア看護学
5ヶ年の成果報告

2 基調講演

エンド・オブ・ライフケアを支える
地域コミュニティの意義

関谷 昇 (千葉大学 法政経学部)



3 シンポジウム

— まちで、みんなで認知症をつつむ：
多世代交流によるわかり合い

梅本 政隆 (大牟田市認知症ライフサポート研究会)



— 市民と専門職の語り合いが生み出す
もの：みんくるカフェの活動

菊地 真実 (早稲田大学大学院 人間科学研究科博士課程 医療人類学専攻)



— 市民どうし自分がどう生きたいかを
語り学ぶ場：市民講座の試み

長江 弘子 (千葉大学大学院看護学研究科 エンド・オブ・ライフケア看護学)



[申 込 方 法] 裏面のお申込み用紙の内容をご記入のうえ、FAXまたはE-mailでお申し込みください。

FAX: **03-5283-6710** E-mail: **elcn@ics-inc.co.jp**

[締 切] 2015年10月20日(火)

[お 問 い 合 わ せ] 千葉大学大学院看護学研究科 エンド・オブ・ライフケア看護学 磯谷 宛 (TEL/FAX: 043-226-2782)

参加無料!

FAX 送信

シンポジウム参加申込み用紙

申し込み締切

10月20日

下記の必要事項を記入の上、FAXまたはE-mailでお申し込みください。

FAX 03-5283-6710 **E-mail** elcn@ics-inc.co.jp

【個人情報の取り扱いについて】

本学は「個人情報の保護に関する法律」並びに「プライバシーポリシー」(URL: http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/privacy/privacy_policy.html) に基づき、皆様の個人情報を以下のようにお取り扱いし、保護に努めております。予めこれらをご了承のうえ、個人情報をご提供いただけますようお願いいたします。

- ・お預かりした個人情報は本シンポジウムに関するご連絡のために使用します。
- ・お預かりした個人情報を第三者に提供することはありません。
- ・本シンポジウムの円滑な運営のために、個人情報の取り扱いを機密保持契約を締結した株ICSコンベンションデザインに委託しています。
- ・ご本人からの、開示、内容の訂正、追加または削除、利用目的の通知、利用の停止、消去および第三者への提供のお求めには速やかに対応いたします。委託先の個人情報管理者までご連絡ください。

(株)ICSコンベンションデザイン 第2事業部 事業部長 堀 正男 [連絡先] ☎03(3219)3519

- ・個人情報の提供は、お客様の任意によるものです。ただし、必要な項目をいただけない場合、各サービス等が適切な状態で提供できない場合があります。
- ・ご本人が容易に認識できない方法による取得を行うことはございません。

上記の個人情報の取り扱いについて、同意の上申し込みます。

フリガナ		所 属	
氏 名			
住 所	〒 □□□-□□□□		
T E L		F A X	
E - m a i l			

シンポジウム会場のご案内



一橋大学 一橋講堂

(東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内)

■ 東京メトロ半蔵門線 / 都営三田線 / 都営新宿線
神保町駅 (A8・A9出口) 徒歩4分

■ 東京メトロ東西線
竹橋駅 (1b出口) 徒歩4分

